

ひめじょ通信



発行：第21号（年1回発行）

発行日：2025. 6. 1

広報委員：今村朋子（編集長）・中尾慶子
瀧本千紗・山本裕紀

発行部数：300部

発行元：一般社団法人 愛媛助産師会
（一社）愛媛助産師会 会長 原田恵美

事務局：愛媛県松山市中一万2-1

愛媛県助産師会立まつやま助産院内

E mail: ehime@himejyo.jp

2024
またもや
オンラインに令和6年度 中国・四国地区研修会
おかえりなさい…「さんば」の故郷 愛媛へ
守りぬくもの × 変えてゆくもの

目次

* 中国・四国地区研修会	1~3
* 特別取材ーいざ出向！	4
* キラキラMIDWIFE ほか	5
* 研修・イベント開催	6~7
* ひめじょのお知らせ	8

今度こそは…！と意気込んだ研修会が、またもや現地開催中止となりました…。(;▽;) 結局当日は晴れ☀という結末でしたが、交通機関の運行中止、ホテルのキャンセル料など県外参加者の方のことを考えて早めに決断しました。予定変更となった多くの皆様に、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。さて、2020年に実行委員長を務めた全国総会のコロナでの現地開催中止もあわせて、**前科2犯！**となっていました(-_-)。ただ、実行委員メンバーの多くが4年前の経験者！急遽オンデマンド配信に切り替える対応は慣れており、さすがでした！皆さま、本当にたくさんのご参加ありがとうございました。またいつか？（中四国研修実行委員長 今村朋子）



●最強の実行委員メンバー8名！副委員長は…？

Instagramで情報発信

今回初めて実行委員として活動させていただき、「とても楽しかった」という思いでいっぱいです。Instagramの担当をお願いしたいと依頼を受けたときには、私にできるだろうかという不安もありました。なるべく皆さんに見てもらえるような記事を作りたいという一心のもと、どのような投稿がみてもいいやすいのか日々研究しながら取り組みました。初めは少なかったフォロワー数も、研修の日が近づいていくにつれて徐々に増えていき、皆さんからいただく「いいね」や「コメント」はとても励みになりました。

通常通り3交代の勤務をこなしながら、合間でInstagram投稿記事の作成、投稿、ストーリーの投稿など大忙しの5か月間でしたが、私にとって新たなチャレンジをさせていただけた貴重な機会となりました。今回は研修がオンラインでの開催となり残念ではありましたが、愛媛助産師会のInstagramは日々数々の投稿をしてくださっておりますので、ぜひご覧ください。そして助産師会に入っていない方にも、おすすめしていただけたら幸いです。（中四国研修実行委員 河野安友加）

緊急告知で開催！高忍日賣神社 さんばの歴史研修

夏の高忍日賣神社の境内は、風が吹くたび、涼やかな風鈴の音色に包まれます。中四国研修会では、特別企画として「正式参拝の儀」とさんばの歴史研修を行う予定でしたが、あえなく中止に…。しかし、後日天候が回復し、特別に参拝させて頂けることになりました。前日に緊急告知。どれくらい集まるかと心配しましたが…、県内の助産師だけでなく、旅行の予定を取り止めて愛媛に来て頂いた県外の助産師たちが勢揃い！また偶然にも、観光で神社へ来ていた県外の助産師学生さんにも出会え、産婆の神様のもとで集えたことにご縁を感じました。

ここでのサプライズとして「これ着てね」という今村実行委員長の一言で、私はマドンナの衣装を着ての参拝になりました。原田会長、黒田さんに手際よく着付けして頂きました。神社と和装、とても合いますね。素敵な思い出になりました。愛媛のあたたかいおもてなしを、またいつか！高忍日賣神社への参拝も、またいつか皆様とできることを楽しみにしています。（中四国研修実行委員 山内秀美）



会長講演

2024 年度中国・四国地区研修会会長講演にあたって
公益社団法人日本助産師会会長 高田昌代

本来なら日本助産師会の会長講演は、助産師会の活動報告なのですが、今回の研修会のテーマ「守りぬくもの、変えてゆくもの」にあわせ、明治の産婆の歴史を講演の内容に入れてほしいと要望をいたしましたところ、快くお引き受け頂きました。との理由がございまして、今回の中国四国地区のみ特別な講演になっていたことをお伝えいたします。講演をうけてその当時の産婆の様子を伺い、明治時代からの助産師の歴史とその発展に思いを馳せることができ、現代の助産師として自分たちが引き継いでいるものの重要性を再認識しました。特に、過去の産婆たちがどれほど地域社会に貢献してきたか、その精神を現代の助産師がどう生かしていくべきかを考える良い機会となりました。残念ながら対面でお会いすることができなかったのですが、現地開催がかなわず、オンラ

インになった際には、スタッフに対して温かい労いの言葉をおかけ頂きました。また俳句イベントも、愛媛らしいと楽しんで会長賞を決めて頂きましたことを皆様にお伝えいたします。（愛媛助産師会会長 原田恵美）



●高田会長の講演はZOOMで実行委員とつないでの撮影となりました。

●俳句の高田会長賞
その他の賞はインスタ・HPをご覧ください



特別講演1

守り つなぐ 自然なお産と私たちの助産院

愛媛助産師会立 まつやま助産院元院長 講師 武智恵子

武智さんの講演は、実行委員長今村のたつての希望で実現しました。去年、お産を引退した武智さん。愛媛の助産師のレジェンド！「助産師 武智恵子 最後の講義」として53年間の助産師人生を共に振り返りました。

講演までに、武智さんと何度も打ち合わせを行って、その人生をまとめさせていただき、驚いたり、改めてカッコいいと惚れ直したり…、本当に幸せな時間をいただきました。その中で、驚いたことは3つ！お生まれが保助看法制定の前年で産婆から助産婦に変化する時代だったこと、そしてその武智さんの記憶力のすごさ！さらに講演当日がお誕生日🎂ということでした。

現地開催予定日だった9月1日、実行委員メンバーが観客として参加する中、対談の録画をさせていただきました。講演で感動したことは、やはり、実際の経験の中から出てくる、一つ一つの言葉の重みのすごさでした。

助産師会入会＝即支部長、助産院就職＝即院長なんて！いくら運命の流れとは言え、それを受けて立ってきた、肝のすわり方が違う！そして、自然なお産を守るという信念を貫き通した姿に感銘を受けました。そんな武智さんの貴重な言葉を皆さんに伝えることができ、本当に幸せです。武智さん本当にありがとうございました。

（中四国研修 実行委員長 今村朋子）



●武智さん最後のお産の1枚



●対談後の一枚

特別講演2

父親が変われば、社会が変わる ～男性育休から見てきた日本の明るい未来～
NPO 団体 PaPa'n 伊藤 悟志, 伊藤 ジュリ

2022年、産後パパ育休(母親のサポートニーズの高い産後8週以内に28日間、2回に分けて育児休暇を取得できる)が新設され、2023年度の男性の育児休業取得率は30.1パーセントと大幅に上昇し、社会が変わってきています。この変化を追い風にできるよう、今回の中国・四国地区研修会ではぜひ、男性の育児について男性の声を皆様にお届けしたいと思い、本講演を企画しました。講師の伊藤悟志さんは、県内ではまだ男性の取得が少なかった10年前に、社内で初めて育休を取得された方です。ご講演の中では、育児に積極的でなかった夫が変わったきっかけや、育休取得が家族にもたらした変化を夫、妻それぞれの立場からお話していただきました。ご視聴いただいた方からは「父親目線で語っていただき、とても分かりやすかった。」「今後の声かけやケアに活かせる具体的な学びが得られた。」「夫婦の掛け合

いが、まるで夫婦漫才のようで、楽しかった。」「伊藤さんご夫妻に両親学級の一部をやってほしい。」などの声が寄せられました。また、伊藤先生からは「画面に向かって話すのが、こんなにも苦痛だとは思いませんでした。ぜひ、皆様にお会いしたかったです。」とメッセージをいただいています。今回は残念ながらオンラインとなりましたが、別の機会にぜひご夫婦でご登壇いただきたいと思います。

（中四国研修 副実行委員長 瀧本千紗）



シンポジウム

これからの産後ケア 守りぬくもの×変えてゆくもの

シンポジウムでは、愛媛県内において様々な形態で産後ケアを担っている4名が、それぞれの実施している産後ケアの現状と課題について発表を行いました。急なオンライン研修への変更にもかかわらず、シンポジストの皆様には、スライド作成にも迅速に対応していただきありがとうございました。本来は、シンポジストでディスカッションを行う予定でしたが、オンラインになったことで実現できませんでした。最後まで、小児科医の大藤先生は「ディスカッションをしましょう!」と意気込んでおられましたが…(笑)。私もシンポジストの1人として、ディスカッションが実施できず残念な思いです。また、ディスカッションを機会に県外の方たちの感想や意見もぜひ聞かせていただきたかったです。

産後ケアの実施は、県内でも各市町において利用料金、利用回数、利用形態など様々です。行政からの委託料にも違いがあります。各市町で産後ケアに携わっている者が横で繋がり情報交換をおこなうことで、愛媛県全体の母子保健充実の一助になればと考えます。特に、小児科クリニックで産後ケアを担っているのは全国でもまだまだ少数であり、その一つが愛媛県で実施されていることはすごいことだと思います。

県内の産後ケアに携わっている皆さん! これからもみんなで愛媛の産後ケアを充実させていきましょ。

(中四国研修実行委員 伊藤美香)



●四国中央病院

中尾慶子 助産師

総合病院の中での産後ケアについてお話をいただきました。

ひめじょう18号 特集

●ゆりかごファミリー
クリニック
大藤佳子 医師

小児科クリニックでの産後ケアについてお話をいただきました。

ひめじょう18号 特集



●産前産後ケアハウスFUWARI

伊藤美香 助産師

助産院で受け入れる日帰り型の産後ケアについてお話をいただきました。

ひめじょう19号 特別取材



●はらだ助産院

原田恵美 助産師

訪問型の産後ケアについてお話をいただきました。

ひめじょう17号 会長就任インタビュー

オンデマンド
研修1災害時の女性支援の現状と課題 ～実効性のある母子支援のために～
静岡大学グローバル共創科学部 池田恵子

最近では南海トラフ臨時情報が発表されるなど、災害はいつ起こるかわからない状況が続いています。災害に対する今回の研修は、災害時の女性支援における現状や課題について学ぶことができ、防災・災害対応への男女共同参画の視点の実質的な導入に向けて何が支障となっているのか確認し、次の段階へと踏み出すために何が必要かを考える良い機会となりました。特に災害弱者となる赤ちゃんや高齢者・障害者・病気の人などの支援を的確に行おうとするならば、家庭や福祉・医療・教育現場

で力を発揮し経験を積んできた、女性たちの知恵やリーダーシップが必要と言われていました。私たち助産師は、災害時の母子支援が的確になされるように「配慮」し、避難所生活のなかで「女性と子どもの安全」が守られるように、女性目線で災害支援に「参画」していかなければならないと感じました。

(中四国研修実行委員 井伊貴子)

オンデマンド
研修2家族の“はじめの1000日”～助産師が寄り添い、繋ぐ母乳育児～
助産院ゆりり/香川県助産師会 鈴木 佳奈子

研修会開催1年以上前から中国四国地区研修会の運営会議が始まり、鈴木先生講演担当となり、私にとって母乳育児支援の神頼みである福増さんに、鈴木佳奈子先生を紹介して頂きました。失礼のないよう細心の注意を払うことに神経をすり減らし気負っていた私に、助産院ゆりり院長の鈴木先生は(福増さんのおかげか)快諾して頂きました。その後のメールのやり取りで、「テーマが素敵です」「チラシの完成度の高さと準備の手際の良さが素晴らしい」「ひめじょう通信が充実している、インスタも得意な方がいらっしゃるのですか?」「愛媛助産師会の皆様のチームワークで大変興味深い研修会の企画になっていて…」とお褒めの言葉だけでなく、台風の心配や研修会開催への労いの言葉、アンケート結果へのお礼などたくさんの言葉を頂きました。

講演内容は、最近の褥婦さんの体幹フィジカルの変化に対応した、赤ちゃんを乳房に引き寄せる授乳支援が具体的で、即実行できました。先生が気にされていた話し方(のんびりしていると感じられたそうです)は、優しい気持ちが伝わるトーンで心地良く感じました。勤務で忙しく役割が果たせるか不安でしたが、メンバーの力を借りて役目を終えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、会員の皆様、愛媛助産師会活動に参加しましょう。

(中四国研修実行委員 黒田法子)

ゆるりのHPより



特別
取材

出向制度によるキャリアアップ支援！

市立宇和島病院 立木星花さんにインタビュー

市立宇和島病院では、助産実践能力向上と他施設交流を目的に、まだ経験の浅い助産師が短期間出向しています。出向先は、宮城県の大崎市民病院です。大崎市民病院は、宇和島市の姉妹都市である大崎市に位置し、病床数500床、年間分娩件数は約500件、地域周産期母子センターの役割を担う病院です。今回は、この病院に出向した、立木星花さんにインタビューさせていただきました。みんなが知りたい出向制度の疑問！立木さんへの **-7 Questions-** ぜひ、ご覧ください！



● 出向先の大崎市民病院

**Q1 出向のきっかけは？**

姉妹都市である大崎市の病院に出向するという話があり、1つ上の先輩助産師が出向していたので、私も行こうと思いました。

Q2 出向したときの立木さんの経験年数は？

3年目で、現在の職場では13例の分娩介助を行いました。その時には、先輩の見守りのもと分娩介助ができるレベルになっていました。

Q3 行くまで、不安や楽しみはどうでしたか？

不安と楽しみと両方ありましたが、どちらかと言えば、不安が強かったです。自分は、見守りで分娩介助していて手技にも自信がなくて、見知らぬ土地に行っても仕事ができるのだろうか、など不安ばかりでした。

Q4 行ってからの受け入れ環境はどうでしたか？

師長さんをはじめ、スタッフの皆さんに温かく受け入れて頂きました。私の相談相手の担当助産師の方もつけて下さり、受け入れるための環境を整えて頂いていました。病棟のスタッフは全員助産師で、様々な意見を聞き、レベルの高いケアが提供されていると感じました。



● スタッフの皆さんと



● 真剣なまなざしでお産に向き合う立木さん

Q5 経験した内容は？ 主に分娩介助に携わりました。

3カ月間の出向期間の中で12例の分娩介助が経験できました。

Q6 特に印象に残っていることは？

分娩介助のときの自分の姿勢に対する指導が印象に残っています。自分は分娩介助のときに怖くて体が自然と産婦さんから離れてしまっていました。それによって、会陰保護や肩甲娩出手技が甘くなり、裂傷が深くなることを学びました。自分の位置を産婦に近づけ、怖がらずに分娩介助することで、裂傷を小さくできることを実践できたことが嬉しかったです。

Q7 出向から帰ってどのように感じましたか？

分娩に対して主体的に取り組めるようになりました。出向に行っていた時には、分娩件数が多いので、学んだ経験を自分のものにできるか不安でしたが、続けて何例も分娩介助につくことで色々な判断ができるようになりました。分娩室へ移動するタイミング、分娩体位をとるタイミングなどが自信をもって判断できるようになりました。

***最後に…**（山本談）出向から帰ってきた立木さんは、いつもと変わらないように仕事をしていますが、**表情に自信が見え、先を見据えて仕事ができるようになった**と感じました。分娩では、産婦に優しく寄り添い、分娩介助では落ち着いて裂傷も少なく、経過の判断も先を見据えて実践できるようになってきていました。また、普段の業務でも、周囲の状況を見ながら、後輩たちをサポートできる**素晴らしい助産師へと成長**してくれています。（広報委員：山本裕紀）



● 宮城観光名所の蔵王！

NEWS 変わる！増える！愛媛の産後ケア

松山市の産後ケア（訪問型）の申請が
オンラインでも可能となりました

これまで松山市の産後ケア申請は、すくすく・サポートでの事前申請が必要でしたが、令和7年度から訪問型に限りオンライン申請も可能となりました。

「ファミリーハウスあい」が産後ケア（通所型）
施設として加わる準備が進められています

認定NPO法人ラ・ファミリエさんが、松山市の通所型産後ケアの委託契約を準備中です。今後様子を見ながら周辺市町との契約も検討されるそうです。

場 所：ファミリーハウスあい（県立中央病院横）
実施日時：火曜日、水曜日、木曜日の9時から17時
対 象：出産後1年以内の母親および乳児
開始時期：令和7年6月

第4弾

★ キラキラ ミッドワイフ ～Midwife～ ★

★「自分らしく」を大切に。女性の人生をサポートしたい！

ゆいた助産院 清水智世さん

●清水智世さんのご紹介



広島総合病院で看護師として勤務後、産婦人科への異動を機に助産師を志す。専門学校で資格取得後、助産師として分娩介助に携わる。結婚・妊娠を機に松山へ転居、クリニック勤務を経て「ゆいた助産院」を30代で開業。現在は、産後ケア（訪問型）、こんにちは赤ちゃん訪問、骨盤軸整体、愛媛

助産師会理事としても活動し、活躍の場を広げる注目のキラキラさんです ✨

心と身体を支える助産師として

産科クリニックで産後健診に携わり、多くのママたちとお話をする中で、授乳や育児、家族関係に悩み涙する姿をたくさん見てきました。私自身も産後につらい経験をしたことから、「退院後の継続的な支援が必要だ」と強く感じるようになりました。そんな中、骨盤軸整体に出会い、「妊娠中～産後の心と身体両方をケアできる助産師がいたら、ママたちの力になれるかもしれない」と思い、開業を意識し始めました。さらに、同時期に子どもが不登校になり、「勤務する」という働き方が難しくなったことも開業の大きなきっかけでした。不登校というマイナスなイメージがあるかもしれませんが、私にとっては新たな道へ進む後押しをしてくれた大切な出来事だったと感じています。

骨盤軸整体で整える、妊娠・産後の身体と暮らし

助産師外来や妊婦健診では、「腰痛」「恥骨痛」「こむら返り」などのマイナートラブルについて、たくさんのご相談を受けてきました。私自身も3人目の妊娠中に腰痛で歩けなくなり、骨盤ベルトを使っていたのですが、劇的な改善は感じられませんでした。「ママたちに納得感のある説明ができない…」と悩んでいたときに出会ったのが【骨盤軸整体】です。これは、従来の整体のように押し揉んだりせず、筋肉



に優しく触れることで「身体が本来持つ力」を引き出す、産前産後に特化した整体です。

私も産後に学び、肩こり・頭痛・腰痛が改善し、楽に動けるようになりました。実際に施術を受けた方からも、「触れるだけなのに、気づいたら楽になっていた！」と喜びの声をいただいています。妊娠・出産による身体の変化は、女性の一生に影響を与えます。子育て中のママはもちろん、更年期・老年期まで元気に過ごしたい方にも、ぜひ受けてほしいです。



開業の現実と自己投資の重要性

開業当初は、行政からの依頼だけで十分にやっていけると考えていました。しかし、実際はそう甘くはなく、自分のサービスをしっかりと構築していく必要があると痛感しました。現在は、助産院の経営や医療広告法について助言を受けるコンサルティングを活用しながら、事業の発展に取り組んでいます。お金をいただく以上、自己投資は欠かせないものと考えています。具体的には、顧客理解・集客動線・リピート戦略など、サービスをより良くするためのアドバイスを受けており、大変役立っています。

助産師として…女性の人生とパートナーシップの支援

私は、世の女性たちが「自分の人生」を楽しめるようにサポートしたいと考えています。SNSや周囲の言葉に惑わされず、自分の心と身体を大切にしてほしい。夫婦関係も大切な要素のひとつです。女性がママになっても自分の価値をしっかりと認識し、ご主人との関係をより良いものにできるようサポートしています。「みんながやっているから、頑張るのが当たり前」ではなく、「あなたが自分らしく過ごすために、どうしていいかわからないか？」と一緒に考えられる助産師でありたい。そう思いながら、これからも活動を続けていきます。

（広報委員：瀧本千紗）



●清水さんは、Instagramでもさまざまな情報を発信されています！

★あなたの近くのキラキラ助産師さんをご紹介します

→ timamura@epu.ac.jp(今村まで)自薦・他薦を問わず、ぜひ、会員の皆様から素敵な助産師さんの情報をお寄せください。（助産師会会員の方に限ります）

ついにスタート！助産師会による松山市こんにちは赤ちゃん訪問

2024年4月から松山市の委託を受け、愛媛助産師会会員によるこんにちは赤ちゃん訪問が開始しました。地区別で担当者を決め、毎月約100件の訪問をしています。

2列目左から 木下さん・蔵本さん・関さん・石井さん・田中さん

1列目左から 城内さん・野上さん・清水さん・白石さん・小林さん・井伊さん・栗林さん



私たちが訪問しています♡

R6
東予研修

産後ケアにも役立つ！乳児の発達の見方とつなげる支援

藤井 雅之 先生（十全総合病院 小児リハビリテーション:作業療法士）

場所：新居浜市ウィメンズプラザ 2024.11.23

今回の研修会で“乳幼児の発達”をテーマにしたきっかけは、産後ケアや地域での相談事業に参加している中で、発達の相談がとて多かったことでした。そこで、勤務している十全総合病院小児リハの藤井雅之先生（作業療法士）に相談したことをきっかけに、病院内でも小児に関わる専門職による相談会『にじいろ相談室』をスタート（R6年3月～）しました。相談室での活動においても、さらにその必要性を感じ今回講演して頂くことになりました。

研修会では、キーワード『脳・感覚・運動』に分けて、脳と感覚の役割、運動発達の支援について分かりやすく説明していただきました。時には可愛いミッキーのぬいぐるみを使ったり、藤井先生がダイナミックに動いたり、目も

頭もフル回転で2時間の研修はあっという間でした。そして、より良い発達支援のためには、子どもの視点に立ち行動理由を探ること、何よりも、子どもはもちろん、保護者も『楽しく、心地よいチャレンジ』が大切だというメッセージを、これから関わる保護者の方々にも伝えていきたいと思いました。

藤井先生の明るく優しいお人柄が感じられ、質疑応答も活発で、とても充実した研修会となりました。藤井先生の講演をまた聞きたい！という感想もたくさんあり、先生も喜ばれていました（*^-^*）（和泉麻実）

R6
中予研修

今、求められている母乳育児支援 ～その根拠と私たちの役割～

場所：松前総合文化センター 2025.1.26

戸田 千 先生（坂出市立病院産婦人科部長 産婦人科医）

助産師として、いえ、育児する女性の支援者として、母乳育児支援は永遠の課題かと思います。支援者として、きちんと根拠をもって、正しい情報を提供することができているだろうかと改めて再確認した時間でした。その上で、女性の自己効力感を後押しできる支援、自信をもって育児ができる支援とは何かと考える時間にもなりました。「母乳育児がうまくいくためのステップ」を私たちの努力目標として、ケアを行っていきたいと思います。

あっという間に講義の時間が過ぎてしまい、まだまだ先生のお話を聞きたいと欲がでていました。お忙しい中、研修時間が過ぎてもしっかりと皆さんの質問に丁寧に答えていた

き、その先生の思いをお腹いっぱい受け取ることができました。

戸田先生の講義はエネルギーで、講義を受けている私たちに多大なるパワーを分け与えていただいています。私も、戸田先生のパワーをたくさんの育児をする女性たちに分け与えられる助産師を目指していこうと思います。戸田先生、素敵な講義をありがとうございました。（橋本知実）

R6
南予研修

妊産婦へのリハビリテーション 実践編

場所：山内産婦人科 2025.2.9

楠目 亜衣 先生（女性と子供の専門整体サロン「まこも」）

今回の研修では、女性と子ども整体サロン「まこも」の楠目先生より、産前産後の女性に必要なケアについて様々なことを学ばせて頂きました。

今回は実践編ということもあり、座学だけでなく、実技を通してその違いを体験することができました。妊産婦は様々なマイナートラブルを抱えていますが、日常動作や育児動作のときに体の動かし方を意識することで、このトラブルを予防したり、筋力アップにつながることを知りました。その体の動かし方の基本となるのが姿勢、呼吸、運動です。正しい姿勢をとることで体の不調が予防でき、正しい呼吸をすることで心と体を整え、適度な運動は帝王切開のリスクを減らし、産後うつ状態の改善につながると学びました。



そして、一番の学びは女性にとって大切な骨盤底筋群エクササイズについてです。骨盤底筋群を鍛えることで、尿漏れや骨盤臓器脱などの予防と改善だけでなく、姿勢の改善にもつながります。実技の中では、この骨盤底筋を触り、トレーニングする方法について学びました。



最後に、妊産婦リハビリテーションに求められるものとして、パパもママも専門家も「ひとりで頑張らない」、多職種で連携し妊産婦を支えることが大切だと、楠目先生からの温かい言葉で締めくくられました。

今回の研修には南予だけでなく、中予・東予からの参加も多数あり、妊産婦を支えたいという助産師達の熱意を感じる、とても良い研修でした。（山本裕紀）





NEWS! R6-7年度 理事/監事紹介

会長 原田恵美*
 副会長 清家育子*・高橋砂智子*
 書記 松嶋佐恵*
 会計 高橋砂智子*・菊川真衣子*
 監事 井伊貴子*・小林麻須美*



●戸田先生研修時に理事・監事の皆さんと

対面総会再開!

●井伊貴子 元会長に
日本助産師会会長賞の
表彰状が手渡されました

◆専門部会

助産所部会長 : 花岡知代*
 保健指導部会長 : 三宅彩香*
 勤務部会長 : 橋本知実*



●久々の対面総会での理事ご挨拶

◆地区会

東予地区長 : 和泉麻実*
 中予地区長 : 橋本知実*
 南予地区長 : 清家育子*

◆各種委員会

教育委員会 委員長 瀧本千紗* 副委員長 清水智世*
 広報委員会 委員長 今村朋子 ほかメンバー4名
 災害対策委員長 菊川真衣子* 安全対策委員長 三宅彩香*
 子育て女性健康支援センター センター長 井伊貴子*

●専門部会や地区会も
対面開催で盛り上がり
ました!●前年度から延期され
ていた高田律美先生の
睡眠の研修も開催!

♥ 読んでみん犬(けん)!?

「母乳育児支援スタンダード 第3版」

NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会(著) 医学書院 2025年2月

皆さんお馴染みの「母乳育児支援スタンダード」
 が10年振りに改定されました!今版では産後ケ
 アや、働く親への支援のテーマを新たに追加され

ています。母乳育児の重要性や母親の悩みにどう
 寄り添うかなど、母乳育児支援の基礎知識から臨
 床技術までをまとめた助産師必携の1冊です。



ひめじょ

Instagram

フォローをお願いします



EHIMEJYOSANSHI

●愛媛助産師会の情報を
 写真でお届けする**ひめじょInstagram!**
 皆様ぜひ**フォロー**をお願いします!
 イベントや研修の様子をタイムリーにお
 知らせしたいと思いますので、たくさ
 んの「いいね」がいただけるとうれし
 いです。(๑_๑)

ひめじょ
LINE公式アカウント

友だち登録をお願いします



●愛媛助産師会の情報を便利に届ける、
LINE公式アカウント! 研修やイベント情報
 を発信中です。
 LINEユーザーの方は、
 ぜひ「**お友だち追加**」をお願
 いします。**会員・非会員を
 問わずどなたでも登録可能**
 です。

日本助産師会
会員マイページ
に必ずご登録を!

●皆さん**会員マイページ**の登録はお済
 ですか?**研修申込も修了証発行**もこちらか
 らになります。ここに登録したメールに
ひめじょ事務局からの連絡をお送りしますの
 で、必ず**いつも使用しているメールアドレス**
の登録をお願いします。なおマイページ
 は、パソコン・スマホどこからでもアクセス
 できますので、うまく活用してください!

★ 新入会の手続きはコチラからどうぞ!

(社)日本助産師会への入会手続きがオンラインで簡単にできるよう
 になりました。QRコードの「**▶入会申し込みはこちら**」のボタンから
 ご登録いただき、自動返信メールの案内に従って入金してください。



*入会金: 初年度のみ ※
 *年会費: 日本助産師会 + 愛媛助産師会
 ※学生賛助会員から正会員に移行の方は、入会金は不要です。
 次年度からは年会費のみの引き落としになります。

(一社)愛媛助産師会 事務局 連絡先

●住所: 〒790-0804 愛媛県松山市中一万町2-1
 愛媛県助産師会立まつやま助産院内
 ●TEL/FAX: 089-945-6757
 ●Email: **ehime@himejyo.jp**
 ●振込先: 伊予銀行 一万支店(普) 1805570
 一般社団法人 愛媛助産師会

ウェルカム ひめじょコーナー

● 東予地区(9名) ● 中予地区(12名)

19号以降に**新入会・他県から転入**された方の人数を紹介します。誌面の都合で人数のみ掲載していますので、お名前は、総会要綱の名簿をご確認ください。

編集後記

昨年5月に発行した「ひめじょう19号」の後、昨年は中四国研修と合わせて過去の関連記事をまとめた「総集編20号」を発行しまし
 たので、今回はついに21号になりました。最近SNSが主流ですが、その中で続けている紙のひめじょうは皆さんにどんなふうに届いて
 いるのかな…と、ふと思いました。先日、ひめじょう1号から見返す機会があり、初めは黄色の紙に白黒印刷だったなあとか(知ってます
 か?)、紙を折る作業をいろんな人に手伝ってもらったなあとか…いろいろ思い出しました。そして何より、多くの助産師さんに登場し
 ていただいて、ひめじょうが発行できることに感謝!という気持ちになりました。愛媛の助産師さんが、本当に知りたいと思う情報を発信
 したいと願っていますのでオモシロイ企画がありましたら、ぜひ広報委員までご連絡ください。どこでも行きますよ!(編集長 今村)

